



# 出穂10日前の追肥、赤かび防除で収量 品質向上！！

## 1. 出穂予想(3月16日時点)

10月上旬播種 ⇒4月8～9日頃  
 10月中旬播種 ⇒4月12～13日頃  
 10月下旬以降播種⇒4月18～20日前後

※R2年産  
 出穂期4/5～18

## 2. 今後の管理

### (1) 止葉展開期追肥

一発肥料溶出の早まりから、登熟期間の窒素供給不足が懸念され、細麦粒発生防止のため、**全ほ場**出穂10～15日前に止葉展開期追肥を実施する。

播種時期	施用時期	施肥量
10/10 以前	3/25～3/30頃	NK17号 12kg (N:2kg)
10/11～25	3/29～4/3頃	
10月末 以降	4/3～8頃	

出穂10日前とは、  
 圃場全体30～40%が  
 止葉展開した頃です。



※止葉展開期を確認し、遅れないように実施してください。

施用の遅れは、硝子率多発(品質低下)や効果低減につながります。

### (2) 湿害対策(排水口の点検)

- ・出穂期以降は特に湿害の影響を受けやすい。
- ・今後は周囲の水田や用水からの漏水が生じやすくなる。

⇒排水溝のつなぎ等を再度点検！

湿害回避と追肥の効果を高めるため、  
 圃場内の排水に努める。

水溜まりを  
 ただちに排水！！



### (3) 赤かび病防除 等

出穂後3～5日の穂揃期、その1週間後の2回防除を徹底して下さい。

防除時期 (4/12出穂の場合)	薬剤名	10aあたり 使用量	使用回数
<b>第1回</b> 4月15～17日 穂揃い期 出穂3～5日後	トップジンM 粉剤DL	4kg	出穂期以降は 1回以内
	トップジンMゾ ル	薬剤67ml /水100ℓ 1,500倍希釈	
 <b>第2回</b> 4月22～24日 1回目の7日後	ワークアップ 粉剤DL	3kg	2回以内
	チルト乳剤25	薬剤67ml /水100ℓ 1,500倍希釈	1回

※生育旺盛な圃場では、うどんこ病の多発が懸念される。

⇒発生が見られたほ場は、出穂前に薬剤散布を実施する。

(トリフミン水和剤 100g/水100L)

### (4) 大麦ほ場内の周縁部の除草について

薬剤名	使用場所	対象雑草	使用時期	10a当たり使用量		使用回数
				薬量	希釈水量	
バスタ液剤	圃場内の周縁部	1年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	300～ 500ml	100～ 150ℓ	3回 以内
プリグロック スL	圃場内の周縁部	1年生雑草	雑草生育期	600～ 1000ml	100～ 150ℓ	4回 以内
ラウンド アップマック スロード	圃場内の周縁部	1年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	200～ 500ml	50～ 100ℓ	3回 以内

<1ヶ月予報(3月13日～4月12日) 新潟地方气象台3/11発表 >

寒気が南下しにくく、暖かい空気に覆われやすい。

○気温: 高い確率70%

○降水量: ほぼ平年並み

○日照時間: ほぼ平年並み